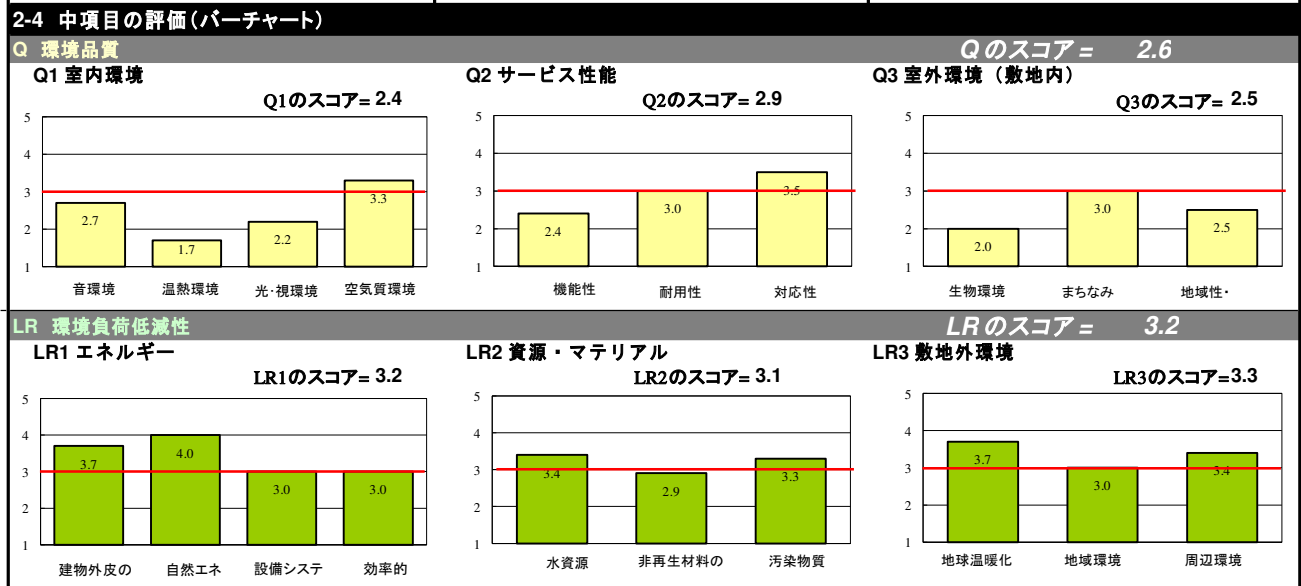
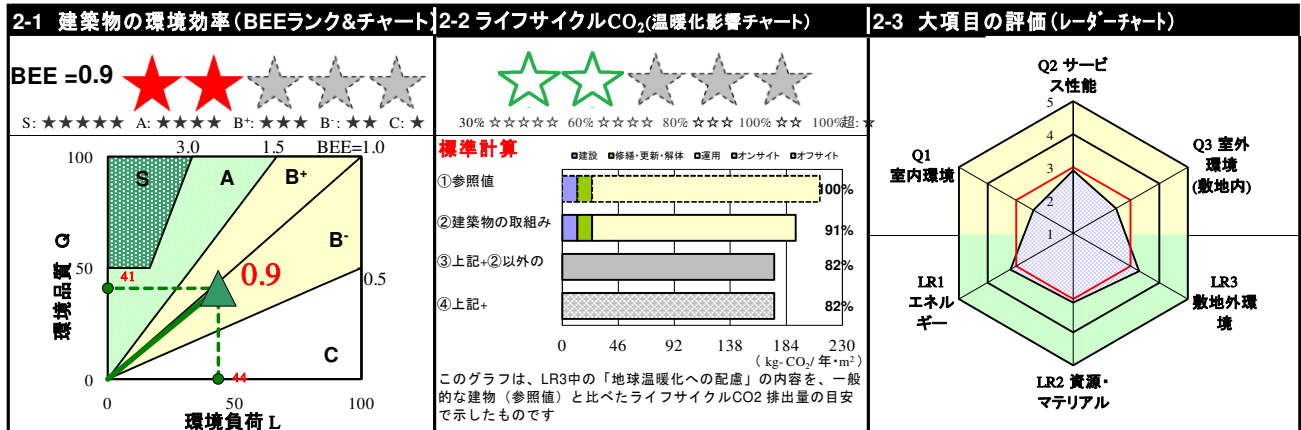


## CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	箕面市瀬川4丁目計画	階数	地上2F
建設地	大阪府箕面市瀬川	構造	S造
用途地域	準住居地域、防火地域 指定なし	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650 時間/年(想定値)
建物用途	物販店、集会所、病院、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2024年4月15日
敷地面積	6,143 m <sup>2</sup>	作成者	松永 康宏
建築面積	1,753 m <sup>2</sup>	確認日	2024年5月9日
延床面積	3,346 m <sup>2</sup>	確認者	古市 忠嗣



3 設計上の配慮事項		
総合		
利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
トップライト使用している。	売場の天井高3.3m以上。 階高5.7m。 0.1≦[壁長さ比率]<0.3。	特になし
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BPI=0.92。 手動の開閉窓を使用している。	節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 LGS使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	適切な台数の自転車置場(バイク置場含む)及び駐車場に加えて、荷捌き車両の駐車施設も確保している。 日影規制に対して1ランク上の基準を満たしている。 光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目の過半を満たす。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		箕面市瀬川4丁目計画					
建設地		大阪府箕面市瀬川					
用途／区分		集会所 病院 物販店					
【評価結果】	CASBEE 総合評価	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>				B－	
①	CO2削減	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>				4	
②	みどり・ヒート アイランド対策	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>				3	
③	断熱性能	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>				4	
		評価対象外				評価対象外	
④	エネルギー消費性能	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>				3	
		評価対象外				評価対象外	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告						報告しない	
-------------	--	--	--	--	--	-------	--

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮	3.7	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2. 2 温熱環境悪化の改善	3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制	3.7	4
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化	3.0	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用	4.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他		
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		